

あきる野市教育委員会 7 月定例会会議録

- 1 開催日 平成 28 年 7 月 28 日 (木)
- 2 開催時刻 午後 2 時 00 分
- 3 終了時刻 午後 2 時 25 分
- 4 場 所 あきる野市役所 5 階 505 会議室
- 5 日 程 日程第 1 教育長及び教育委員報告
- 6 出席委員 教 育 長 私 市 豊  
教育長職務代理者 山 城 清 邦  
委 員 田 野 倉 美 保  
委 員 丹 治 充  
委 員 宮 田 正 彦
- 7 欠席委員 なし
- 8 事務局出席者 教 育 部 長 小 林 賢 司  
指 導 担 当 部 長 肝 付 俊 朗  
生涯学習担当部長 関 谷 学  
教育総務課長 宮 田 健 一 郎  
教育施設担当課長 清 水 保 治  
学校給食課長 宮 崎 勝 央  
指 導 担 当 課 長 間 嶋 健  
生涯学習スポーツ課長 細 谷 英 広  
スポーツ・公民館担当課長 吉 岡 賢  
図 書 館 長 松 島 満  
指 導 主 事 梶 井 ひ と み  
指 導 主 事 櫻 井 欣 也
- 9 事務局欠席者 なし

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（私市 豊君）

それでは、定刻ですので始めたいと思います。

先ほどニュースでようやく梅雨が明けたという報道がありました。これから本当に本格的な夏になってまいります。ぜひ暑さに負けないように、お体のご自愛を願いたいと思います。

それから、これは触れないわけにはいきません。昨日はここから見えます菅生学園の球児、甲子園に行くものと思っておりましたが、残念ながら負けてしまいまして、本当に残念なのですが、ぜひ来年こそはという思いを伝えたいと思います。本当にお疲れさまでございました。

それでは、ただいまからあきる野市教育委員会 7 月定例会を開催いたします。

本日は、教育委員全員が出席しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

それでは、議事日程に従って会議を進めたいと思います。

まず、議事録署名委員の指名については、山城委員と田野倉委員を指名します。

それでは、議事に入りたいと思います。

日程第 1 教育長及び教育委員報告です。

それでは、私から報告をいたします。お手元に教育長報告をお示ししてございます。

この中で、この 7 月は地域懇談会を開催しておりまして、7 日に東秋留地区、12 日が増戸地区、20 日が西秋留地区、25 日が多西地区、26 日が五日市地区、そして本日午後 7 時より戸倉・小宮地区の懇談会で終了いたします。懇談の中で、特に学校関係、教育委員会関係では 12 日の増戸地区におきまして、小中学校の防災教育に関する質問、要望等がございました。どういうことかといいますと、増戸地区は特に防災の取り組みが進んでいる地域でございます。そういう中で小学校、中学校との連携でそういう防災教育、そういうものを広めたいということがあるので、ぜひ学校のほうにも積極的に教育をしてくれるようにと、そういった内容の要望、提案でございました。この件につきましては、学校長にもこのような話がありますということを伝えたいと思います。

それから、25 日の多西地区におきましては、教育委員会関係 5 件ほどございました。

1 点目が草花小学校の児童数、ここかなりふえている状況の中で、今後の見通しと教室等のいわゆる増設、そういう対応を考えているのかというような質問でございます。この質問に対しては、教育部長のほうから児童数については現在がピークだという中で、教室等の増設については、今の段階では大丈夫だろうという内容の説明をさせていただいております。

それから、いずみ通りという通りがあるのですが、ここの交通安全対策、やはり草花小学校の通学路の道路でございます。非常に交通量が多く道路も狭いという状況の中で、交通安全対策をよろしくお願ひしたいという要望でございました。

3 点目が小中一貫教育についてということで、小中一貫教育は余り効果がないのではないかという観点での質問でございました。この質問につきましては、私のほうから逆に小

中一貫教育、これには非常にメリットがあるというようにお話をさせていただいております。

4つ目がスポーツレクリエーション大会の今後ということでございました。ことし32町内会、自治会が参加しておりますが、そのうちの15の町内会が多西地区であるという中で、今後どうするのだという発言に対して、根本的に見直しを進めますという説明をさせていただきました。

最後、5つ目でございます。卒業式、入学式において国歌斉唱の際に起立をしない公の人がいたということに対して、教育委員会として今後どうするのだという質問がありました。これも、私のほうから、どうするのだという質問中で、招待状を出す必要があるのかという、そこまでの質問も受けましたので、招待状については出さないわけにはいかない、いわゆる公の人ですから出さないわけにはいきませんと、起立についてはとにかく子供たちの晴れの舞台、そういう国歌斉唱、それから国旗の掲揚、これは義務教育の中で定められている事項であり、いわゆる厳粛な場であるので、ぜひ起立をお願いしたいということを引き続き協力を依頼する形で今後も進めていきたいと、そのような内容のお答えをさせていただいております。

以上が地域懇談会の教育委員会関係への質問、要望等の内容でございます。

私からは以上でございます。

ほかの委員さんから報告等がありましたら、お願いをいたします。

山城職務代理者。

教育長職務代理者（山城清邦君）

今月ちょっとお盆が絡んでおりまして、なかなか動けなかったもので、まことにプアな報告書になっておりますけれども、学校訪問なのですが、ずっとやらせていただいておりますけれども、先ほどの小中一貫についてどうなのかというご質問が地域懇談会であったのですが、私も学校訪問させていただいております、一つ感じるところは、小中一貫に関して小中の学校の先生方が集まって共同研究をして、一つの9年間を見通したカリキュラムをつくるのか、そういったことの作業などの方向性が見える、あるいはそれに対する熱意が感じられる学校とどうしたのかなというようなことを感じる学校とがありまして、各中学校区の単位で編成されているのですけれども、若干温度差を感じざるを得ないなというところが正直なところありました。

これはなぜそうなるのかなというようにところが、そこまではちょっとまだよくわからないのですけれども、小中一貫教育の単位、そのそれぞれの中学校区の中での中学校の校長先生の存在感のかな、あるいはリーダーシップのかなと。それが1校対1校のところもあれば、1校対3校というところもありますけれども、いずれにせよ、その取り組みに関して日常的にどうなのだろうということを感じる学校もありました。これからも学校訪問は続きますけれども、ぜひその辺では小中一貫教育もかなり時間もたっているわけですので、先生方同士が仲よくなってきているということは、どこの中学校区へ行ってもお聞きするのですけれども、その先へ行く話、例えば9年間を見通したカリキュラムであるとか、あるいは小学校から中学校に進学してきた生徒たちの例えば算数から数学へのステップアップのときに、その辺の連絡事項とか、あるいはそのカリキュラム的なものとか、その

辺が十分じっくりいっているのか、いっていないのか、必ずしもうまくじっくりいっていないのではないかと感じる学校もあったのがちょっと残念だったなと思っています。

それから、別の観点で見ても、学校訪問させていただいておまして、やはり小学校、中学校の児童生徒が市内の学校で過ごす場合に、相当長い時間、公共施設としては相当、例えば児童生徒が利用者だとすると、とても長い時間過ごす施設です、学校は特に。公民館とか市民会館というところ比べると、同じ人物がほぼ毎日のように朝から夕方まで過ごすという意味で、これは公共施設としての物理的な環境のあり方、これはやはり相当力を入れて考えてあげないといけないと思うのです。勉強もさることながら、友達関係もさることながら、やはり快適な空間で過ごしてもらいたいと私は考えております。その点やはり予算の関係で仕方がないのしょうけれども、相当もう床が傷んでいるとか、あるいは塗装ももう相当黒ずんでいるとか、トイレはだんだん改良されていますけれども、世の中全般に比べて必ずしもイコールにすらもいっていないトイレの問題だとか、あるいはようやく今年度予算化されて実施されるということですが、飛散防止フィルムもとくに劣化している姿がさらけ出されているとか、そういった様子を見ますと視覚的にも、あるいは施設の中で過ごす上でも物理的な環境が必ずしも快適ではないというのは感じる場所です。ぜひ力を入れていただいて、子供たちが過ごす生活空間として安全で快適な環境というのをやはり提供してあげる必要があるのではないかと思います。

それと、もう一つ物理的な環境でいいますと、学校の中の清掃も正直言いますと、きちんと行っている学校もあれば、そうでない学校もあると思います。それとプラス、学校の周辺の校庭の雑草だとか、その辺も一般の感覚からすると、どうしてこういうところに草が生えているのを放っておくのだろうか、特にこれから夏、草がどんどん生えていきますけども、そういった学校内外の清掃ということも、地域の公共施設としてはやはり考えていっていただきたいなというところを感じます。

私からの報告というのは、学校訪問に絡めてとりあえず以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

じゃ、田野倉委員、お願いします。

委員（田野倉美保君）

それでは、私は行事に関して報告したいと思います。

今月、幾つかの行事に出席させていただきました。7月9日のあいさつ標語カルタ大会、7月23日の子どもすもう大会、2つの行事とも年々参加者が増加して、保護者を含め、学校全体がすごく盛り上がっている様子が手に取るようにわかりました。各大会とも青少年委員ですとかスポーツ推進委員、各学校の校長先生、副校長先生を始めとする諸先生方、あるいはPTAの方、保護者の方、もちろん市の生涯学習課の方を含め、本当にさまざまな方が協力し合って大会を運営していらっしゃるというのが非常に印象的でした。その方々がみんな子供のために、子供達が健全でのびのびと育ててほしいという思いで、ボランティアの精神でやったださる方がこんなにたくさんいらっしゃるというのが実感できて非常にうれしく思います。

その中でちょっと気になったことが一つあります。もちろん参加する児童の方は任意で

参加したい子が参加するという形にはなっているのですが、学校規模にまるで関係なく、参加者数のばらつきがかなりあるということです。特に一の谷小学校は、市内でも一番小さい学校にもかかわらず、カルタ大会にもすごくたくさんチーム数を出していらっしやったりですとか、すもう大会でも団体戦に優勝なさったりですとか、小さいながらに学校を挙げて、地域を挙げて一致団結して、すごく頑張っているなというのが感じられました。さっきの小中一貫の話もそうですけれども、どういったところで学校によって差が出てくるのかなと思います。子供たちにとってみれば、様々な行事に参加して、自分たちの力を発揮できる場がいろいろとあって、そこで頑張れるというような環境をつくりだしてあげるとするのは非常に大切だと思います。ほかの学校でも学校の先生ですとか保護者の方ですとかPTAの方ですとか、その方々がどのような形で子供達に働きかけをして、バックアップしているのかなというのが少し気になったというのが感想です。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私も、各委員の先生方とできるだけダブらないような形でお話ししたいと思います、行事の中で特に子どもすもう大会の取り組みについて申し上げたいと思います。

関係された部局はもちろんですけれども、今、田野倉委員のからもお話があったように、子供たちのために、地域の方が運営委員や事務局と一緒になられて協力支援が行われているという点は、本当に周りに対する影響も非常に大きいだろうと思います。そういった意味で、子供たちのために支援を惜しまないああいう方たちをさらに増やすことによって、大人が見本のあきる野市が構築されていくのではないかという思いをいたしました。

ただ、残念な点は、この会場にいる応援の皆さん方の私語が非常に多くて、競技のはじめとしての開会式の意味合いが薄まってしまうような気がいたしました。そこで、開閉会式のあり方なのですが、開会式はもう少し静粛にできないものかと思います。式が始まったりしているにもかかわらず、大人がうるさいのですよね。やっぱり相撲大会は教育の一環も担っている場ですから、やはり開閉会式については、大人の皆さんにも協力いただけるような手立ても考慮すべきだと思いました。次年度には是非協力をお願いしまして、もっとしっかりと日本の国技ともなっている相撲という武道に対する取り組みといいますか、伝統を大切にする、重んじられるような、そのような行事の姿に何とかできないものかなと感じました。それから、近年女子の相撲も大分盛んに行われるようになってきている中で、男子と女子の組み合わせが混成の同チームでよかったわけですが、あれはあれでいいとしても、個人戦の女子の出場者数も非常に多く参加しており、参加者が増えてきているので、大会運営の時間さえ許せば女子も団体戦を組むことも必要になってくるのかなと思いました。

それから、マールボロ派遣の件ですが、壮行会も盛大に行われ、実り多い派遣事業が実施できて本当よかったなと思いました。また、子供たちが帰校しましたが今後、各校では報告会が計画されている学校と計画のない学校があると伺っております。

今後の派遣事業を充実・発展させていくことを考えますと、派遣された生徒が自校の生徒に派遣の感想をお話するという事は、報告者のプレゼンテーション力を育て、次に続く国際感覚に優れた生徒をはぐくむ上でも大変有効な取り組みになると考えます。

やはり、各学校の代表として選抜されて派遣された皆さんですから、その報告会を各学校では、時間を工夫して設定していただけたら、ますます市全体でのグローバル化に生かされてくのではないかと、そんな思いをいたしました。

以上2点お話しさせていただきました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

行事については、各先生方が報告したので、ここに載っていない7月20日に放課後教室の研修会が、今年度の第1回目がありましたので参加してきました。実際にやっているボランティアの方も老若男女というのですか、若い人はそんなにいなかったですけど、来られていまして、それで講師としてご夫婦の方が講演ということで質問をしながらやったのですけども、やはり放課後教室の課題もボランティアさんから言わせると、いろんな生徒が来て、結局やっぱり騒ぐ子とかけんかして迷惑かける子がいると、そういう場合どうしたらいいのかという質問があって、それは普通の一般の方がやっているわけなので、そういう質問が起きるのだろうなと思うのですけども、その講師の方が答えるには、その子にただやめろとか言うのではなくて、何か悩みがあるのねとか、そういう受け答えしてやらなければいけないという話になって、やっぱり特別支援のほうの関係というのですかね、そういう課題も少し放課後教室に入ってきているのかなという気がして、こういう研修会というのは一般の方もたくさん来られているのですけども、そういう関係の話もされるような研修会が次もできるといいのかなと思いました。ただやはり難しい話だとどうしても常に教育のことをやっているわけではないと思いますので、その辺をちょっとうまく考えていただいて、そういうケース・バイ・ケースで答えられるような話とか、そういうことができれば、より放課後教室のほうに生かせるのかなという気がいたしました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

7月も教育委員会、各委員さんの活動報告いただきましたけども、そのほかに特にこれはというものがありましたら、ご発言願いたいと思いますけれども、よろしいですか。

教育長職務代理者（山城清邦君）

では、一つ。

教育長（私市 豊君）

山城職務代理者。

教育長職務代理者（山城清邦君）

7月5日の「いじめをなくそう」子ども会議のことなのですが、私は遅れて参加いた

しました。例年行われていまして、もうこれ何回目になるんですかね、代表で出てきた子供たちが本当に活発な意見を交わして話をまとめる際にも上手にまとめていて、ああいう作業というのは、僕は良い経験をしているなどと思ひまして、とても大事な、ほかの学校の顔も知らない児童や生徒と一緒にテーブルを囲んで、同じテーマについて話し合うというのは、これは本当にいい機会です、もちろん選ばれてきたからでしょうけれども、ちゃんとみんなしっかりと自分の意見を持っていて、本当に偉いなどと思ひて見ておりました。

どの学校へ行ったときでしたっけ、早速そのときのまとめが階段付近に張ってありまして、あの場でスピーディーに出て本当によかったなどと思ひています。やっぱり要点は、まとまった話をどう一般の生徒たちに浸透させるかということところが最後の目的になると思うのですが、どうかぜひこれはこれからも続けていただいて、子供たちのそういった発想とまとめる力、議事の力、そういったことを十分養う機会として、これからも続けていきたいなどと思ひた次第です。

教育長（私市 豊君）

ほかによろしいですか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

ほかにはないので、教育長及び教育委員報告は終了いたします。

最後に、事務局から今後の日程等についてご案内をお願いします。

教育総務課長（宮田健一郎君）

それでは、今後の日程等につきましてご案内をさせていただきます。

次回定例会までは特にご案内する内容はございません。

8月の定例会でございますが、8月25日の木曜、午後2時から505会議室で開催いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

以上をもちまして、あきる野市教育委員会7月定例会を終了いたします。

閉会宣言 午後2時25分